

# 建総かわら版

訓練校 板金科 V2達成



優勝した板金科の伊藤啓大君

## 第7回若年技能者技能競技会

9月22日（土）河北高等技能専門校で開催された。

各競技科目、建築大工10名 建築板金12名、左官7名 建築塗装7名の計45名中 庄内から建築大工3名、建築板金2名、左官4名が挑み日頃の練習成果を発揮した。結果は建築板金では伊藤啓大君（（有）五十嵐板金）が優勝、小野拓未君（（有）小野板金工業）が2位。左官で山口翼君（本

間工業（株））が3位と今年も大健闘の結果となった。



訓練校教師生徒他

## 木工教室メインステージ上で



9月29日（日）遊佐町商工フェアに初参加した建総住宅部が木工教室を開催。小学生を対象に木製

## 住宅部「遊佐町商工フェア」に初参加

踏み台を課題にした。

準備した32SETがすぐなくなるほどの盛況ぶりだった。初参加にもかかわらずブースがメインステージ上だったことに期待の大きさがうかがえられた。

尚4423円の募金が集まり、遊佐町社会福祉協議会へ寄付した。



## 「今後に向けた検討課題」

### 山形県建設国民健康保険組合

平成30年度に保険料の値上げを行った所だが、それ以上に国庫支出金「補助金等」を減額されたことが響

いている。さらに平成30年度確定額についても国庫への償還金が発生し、令和元年度について、引き続き償

還金として補助金の返還を見込まなければならない状況となった。

今後の見通しとしても医療技術の進歩で医療費もかさみ、新薬開発された高額薬剤が次々と保険診療に採用されるほか、国庫支出金の削減も予想される。

今後も補助金等が減額され、歳入不足が想定されるなど財政運営がさらに厳しくなることは必至で、令和2年度においても保険料値上げ等を行わないと安定的な財政運営が極めて困難な状況に。

「これからも皆で支える（命と健康を守る建設国保組合）の安定運営のため、組合員の皆様にはご理解を宜しくお願い致します」

理事長 菅原正敏

## 編集後記

全建総連59期7号闘争ニュース紙面で8月末に厚労省が財務省に提出する令和2年度概算要求額は過去最大の32兆6234億円の2.1%増で要求したが前年予算比で39.5億減となった。定率補助がマイナス34.6億円と過去最高減調整補助金もマイナス7.1億円これを意味することは・・・